



佐藤 富夫 議員

- 1、震災買い取り元地の利活用を問う
- 2、本市の観光政策を問う

Q 大曲浜地区以外の元地は荒地同様の状況。日本三景の一角として見苦しい。土地の保全と有効利用を図るよう提言する。

A ①有償無償での貸付地が虫食い状態にあり、土地の有効活用の障害となるおそれがある。利活用計画により、体系的な有効活用を提言する。

Q ②荒地、雑草対策として、動物を飼育することも一策。観光牧場を誘致し、食と観光など一石二鳥の相乗効果が期待される。検討してみてもどうか。

A 市長 ①については、一部に農業法人が営業しているが、東松島市国土利用計画および特別名

勝グラウンドデザインと位置付け対応をする。

②については、固有の自然、歴史、文化資源あるいは、新たな観光、交流を誘導する土地利用を検討し、農業系、エネルギー系用地として利活用を進めるとともに、議員提言の観光牧場についても考えてみたい。



▲荒地放置は条例違反、早急に対策を



▲小野歩道橋から見た鳴瀬川堤防



滝 健一 議員

- 1、豪雨被害の備えを万全に

Q ①排水路の正常機能の維持。②豪雨時の危険個所の把握状況と本市の対処の仕方。③洪水についても防災関連事業に取り上げるべき。④子供や災害弱者の避難誘導策。⑤防災マップの修正版を作成すべき。

A 市長 ①雨期前のパトロールや自治会等の要請で清掃をして

いる。

②市内約270カ所の土砂災害危険個所と洪水浸水想定区域を把握している。状況により記録的短時間大雨情報発表前でも避難勧告等を発表する。

③地震津波に限定されない防災意識の向上に向け、今後も啓発に努める。

④地域の防災関係者が情報を共有しているので、

連携して避難誘導にあたる。災害弱者は避難準備情報発表と同時に早い避難開始を呼びかける。⑤今後、修正版防災マップ洪水編の作成を進める。

A 教育長 ④学校等の避難誘導は、常に体制を整えている。防災マニュアルに基づくもので、今後一層、安全な避難誘導を構築してゆく。

Q 豪雨被害の備えを万全にせよ

A 更なる避難誘導策を構築する